

# 県立がんセンター新潟病院医誌投稿規程および手引き

## I (投稿者の資格)

本誌に投稿するものは当院職員、当院と関係の深い者、および編集委員会にて依頼または承認された者とする。

## II (原稿の種類)

原稿は総説、原著論文、基礎研究、臨床研究、症例報告、報告、資料・統計、特集、抄録とし、他誌に未発表のものとする。内容は腫瘍およびその関連のあるもので、当院職員の研究、教育に寄与するものが望まれる。

## III (原稿の申込)

- 1 原稿は別に定める投稿表紙とともに提出する。(提出原稿にも、標題、著者名、所属を明記する)
- 2 所属の書き方：当院の「病院概要」中の「病院機構」に使用されている名称を使用する。
- 3 提出の際は、印刷とデータ原稿の両方を提出する。

## IV (原稿の様式)

### 1 標題のページ

標題、著者名、所属、索引用語 (Key word-分かりやすいもの5~6個以内)

### 2 本文

- A) 論文の形式：要旨 (400字以内で必ず付けること) -はじめに-対象と方法 (または症例) -結果 (または成績) -考察 (考案) -おわりに-文献 とする。但し、総説、資料・統計の体裁は自由とする。また、項目符号を使用する場合は、I・1・1) …などを使用する。
- B) 原稿数量は下記を原則とする。

	本文 (要旨・文献を含まない)	図・表
総説	8000字	10枚以内
原著	12000字	15枚以内
症例報告	6000字	7枚以内
その他	8000字	10枚以内
集談会抄録	1000字	無し

- C) 学術用語は日本医学会又は各関連学会の用語集による。
  - D) 外国人名、地名、化学用語は原則として原語を用い、一般化したものはカタカナで書く。
  - E) 薬剤名は一般名を用い、商品名はなるべく用いない。
  - F) 論文中しばしば繰り返す言葉は略語を用いてもよいが、初出のときは省略してはならない。
  - G) 数字は算用数字を用い、単位はCGS単位を原則とする。  
記号はm, cm, mm, u, mu, g, mg, l, ml, °C, pH, N, M, Ci, mCi, uCi などを使用する。  
省略点は打たない。
- 3 図・表・写真は本文中に挿入希望箇所を明記し、タイトルをつける。  
写真・図は原則として白黒印刷とする。
  - 4 標題、索引用語 (Keyword)、図・表の表題はなるべく日本語が望ましい。

## 5 文献

引用文献は論文に直接関係あるものとし、引用箇所の右肩に番号をつける。文献欄には、引用順に次のように列記する。

### A) 雑誌

引用番号) 著者名：標題. 雑誌名.  
卷(号)：最初のページ- 最終ページ(通しページ). 年.  
(例) 1) 谷 長行, 大山泰郎, 三浦 理 他：免疫チェックポイント阻害薬による内分泌代謝分野有害事象とその対策. 県立がんセンター新潟病院医誌. 56(1):1-7. 2017.  
2) Yamamoto D, Sato N, Rai Y, et al: Efficacy and safety of low-dose capecitabine plus docetaxel versus single-agent docetaxel in patients with anthracycline-pretreated HER2-negative metastatic breast cancer: results from the randomized phase III J021095 trial. Breast Cancer Res Treat. 161(3):473-482. 2017.

\*著者名は、多数の場合は3名までの記載とする。

\*雑誌名は、国内誌は略記を避ける、国外誌はPubMed Journal Date base のTitle Abbreviation に準拠。

### B) 単行本

引用番号) 著者名：書名. 初版以外の場合はその版. 引用ページ. 発行所. 出版年.  
(例) 3) 日本婦人科腫瘍学会：子宮頸癌治療ガイドライン 2011 年版. P29-40. 金原出版. 2011.

### C) 編者と著者が異なる単行本

引用番号) 著者名：標題：書名. 初版以外の場合はその版. 編者. 引用ページ. 発行所.  
出版年.  
(例) 4) 竹之内辰也：皮膚悪性腫瘍の外用療法：匠に学ぶ皮膚科外用療法. 上出良一編. p52-57. 全日本病院出版会. 2012.

### D) 電子文献

引用番号) 著者名：標題. [引用日]. URL  
(例) 5) 県立がんセンター新潟病院: 定位放射線治療装置 (ノバリス). [引用 2014-2-1]  
<http://www.niigata-cc.jp/contents/bumon/hosyasen/teii.html>

## V (原稿の審査)

- 1 編集委員会は査読審査を行う。
- 2 編集委員会は投稿原稿について加除、訂正を求めることがある。

## VI (校正)

- 1 校正は3枚までとし、著者は再校までを行う。
- 2 校正は誤植に限る。内容の加筆補正は避ける。

## VII (別刷)

- 1 掲載論文(抄録類は除く)の別刷は10部まで無料。これを超えた分については、実費有料となる。

## VIII (刊行回数と募集時期)

- 1 刊行回数：年に2回とする。
- 2 発行時期：3月、9月とする。(原稿募集締め切り：6月末、12月末)

## IX (インターネット掲載とその留意)

- 1 本誌はインターネットに全文掲載される。<http://www.niigata-cc.jp/contents/facilities/isshi.html>
- 2 個人情報保護のため、個人の特定ができないよう留意する。

## X (その他)

- 1 本誌の刊行および関連事項について、必要があれば編集委員会で協議して決定する。
- 2 本誌に掲載された論文記事の著作権は県立がんセンター新潟病院に帰属する。